

緋のあづま(リンゴ)

＝福島県農業総合センター果樹研究所＝

>>> 品質・栽培の特性

- 9月下旬～10月上旬に収穫できる中生種。
- 着色が良好である。
- 食味は甘酸のバランスが良く、果汁が多く濃厚な味ながら後味は爽快。
- 食感はシャリ感が強く歯切れが良い。
- 「ふじ」との交配親和性があるため、「ふじ」の受粉樹を兼ねた優良中生種として期待される。



名前の意味

「雄大な吾妻連峰を背景に、秋の澄み切った陽光を浴びて鮮やかな緋色に色づいた果実」という意味を込めています。

>>> 栽培上の留意点

- 着色は8月下旬頃から始まり着色先行で推移する。そのため、鳥害が未熟果でも発生する可能性があるため場合によっては鳥害対策をとる必要がある。
- 未熟果で収穫すると酸が多く残り食味を低下させるので、酸が適正な値まで低下してから収穫する。
- 着色は気温にあまり左右されないが、直射日光を必要とする。このため、反射マルチは必要ないが、軽い葉摘み・玉回しが必要である。

>>> 来歴の概要

平成2年に「千秋」を母、「ひめかみ」を父とした人工交配により作出した品種です。平成9年から各種特性調査を継続し、平成15年にその特性を確認して育成を終了しました。

千秋(♀)

ひめかみ(♂)

「緋のあづま」